

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎26550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

落ち着いて迅速に、消火ヨシ!

第26回初期消火大会開催

10月3日(水)、日野消防署において、第26回初期消火大会が行われ、日野消防署管内(日野町・旧蒲生町)から、27事業所33チーム(屋内消火栓の部14チーム・消火器の部19チーム)が出場されました。各チームとも、大きな声と迅速な動きで、火災発生時の的確な消火活動を競いました。最後に、防火に関するクイズが行われ、参加者は日ごろの防火意識をより一層高められました。

【屋内消火栓の部】優勝・京セラ(株)蒲生工場/準優勝・青木油脂工業(株)滋賀工場
【消火器の部】優勝・東洋アルミニウム(株)日野工場/準優勝・互応化学工業(株)



▲消火器の部：119番通報後、燃え上がる火を消火器ですばやく消します

おいしくできたかな?

日野町連合青年会「日野エプの鉄人2007」

9月30日(日)、日野公民館において日野町連合青年会主催の「日野エプの鉄人2007」が行われました。これは、青年会の団員獲得を目的とした事業で、参加者約20名(団員10名を含む)が5チームに分かれ、ゲームで獲得した食材を使って料理を作り、その味を競いました。

そして、豆腐ハンバーグやスパゲッティなどの料理が完成。審査の結果、親子丼とみそ汁を作ったチームが優勝されました。団員と同世代の若者同士が、協力して料理をすることで、楽しく交流を深められました。



▶獲得した食材で何の料理を作るかをチームで相談中

まじんをめぐりながらつなぐ

赤い羽根共同募金始まる

今年も、10月1日から全国で赤い羽根共同募金が始まりました。日野町でも1日(月)、日野町社会福祉協議会・共同募金会の皆さんが、平和堂日野店前などに立ち、買い物客や道行く人に、募金の協力を呼びかけられました。

平成18年度、日野町共同募金委員会には、510万7,685円が募金されました。皆さんから寄せられた募金は、高齢者福祉、児童・青少年福祉などの地域の福祉のために活かされています。

赤い羽根共同募金は、12月31日まで実施されています。



▶「ご協力ありがとうございます」



まちのわだい

全国老人クラブ連合会長表彰

西岡英一郎さん(野出)が受賞

このたび、西岡英一郎さん(82歳・野出)が、全国老人クラブ連合会長賞に選ばれ、10月10日・11日、新潟県新潟市で開催された第36回全国老人クラブ大会において表彰されました。これは、多年にわたり老人クラブ活動の推進と育成発展に尽力され、老人福祉の向上に貢献された功績が認められての受賞となりました。

西岡さんは、「身に余る光栄で、終生忘れることの出来ない感激です。今後、健康である限り地域発展に報いたいと思っています」と受賞の喜びを語ってくださいました。

受賞おめでとうございます。これからも、高齢者がいきがいを持って共に支えあう、心豊かな地域社会づくりに活躍されることでしょう。

▶受賞された西岡英一郎さん



▶「エイッ」と力いっぱいラグビーボール投げ(筋力番付)



みんなでいい汗かいたね!

第26回日野町スポーツ天国の日

10月14日(日)、大谷公園一帯において日野町体育協会主催「第26回日野町スポーツ天国の日」が開催されました。

今年のテーマは「みんなでマッスル・仲間とハッスル」。会場では、マラソンやウォーキング、ヨガ体操など、いろいろなスポーツが行われました。

腹筋、背筋、握力などを測定し、その力量を競う「ペアで挑戦!筋力番付マッスルNo.1」では、家族や友達で挑戦されていました。

子どもからお年寄りまで、延べ2,000名が、スポーツで楽しく「いい汗」を流されました。

稲わらを牛の飼料に

増田営農組合の取り組み

増田地区の24戸で組織される増田営農組合では、今年から稲わらを地元の畜産農家に供給する取り組みを始められました。これは、今まで、麦の種をまく前に、燃やしていた稲わらを、家畜の飼料として活用するものです。「わらを燃やさないことで二酸化炭素を出さず、環境にも配慮した取り組みです」と組合長の石山悟さん。

10月14日(日)も、組合員によって農地に残った稲わらをかき集め、ロール状に梱包する作業が行われました。

▶大きなロール状になった稲わら

